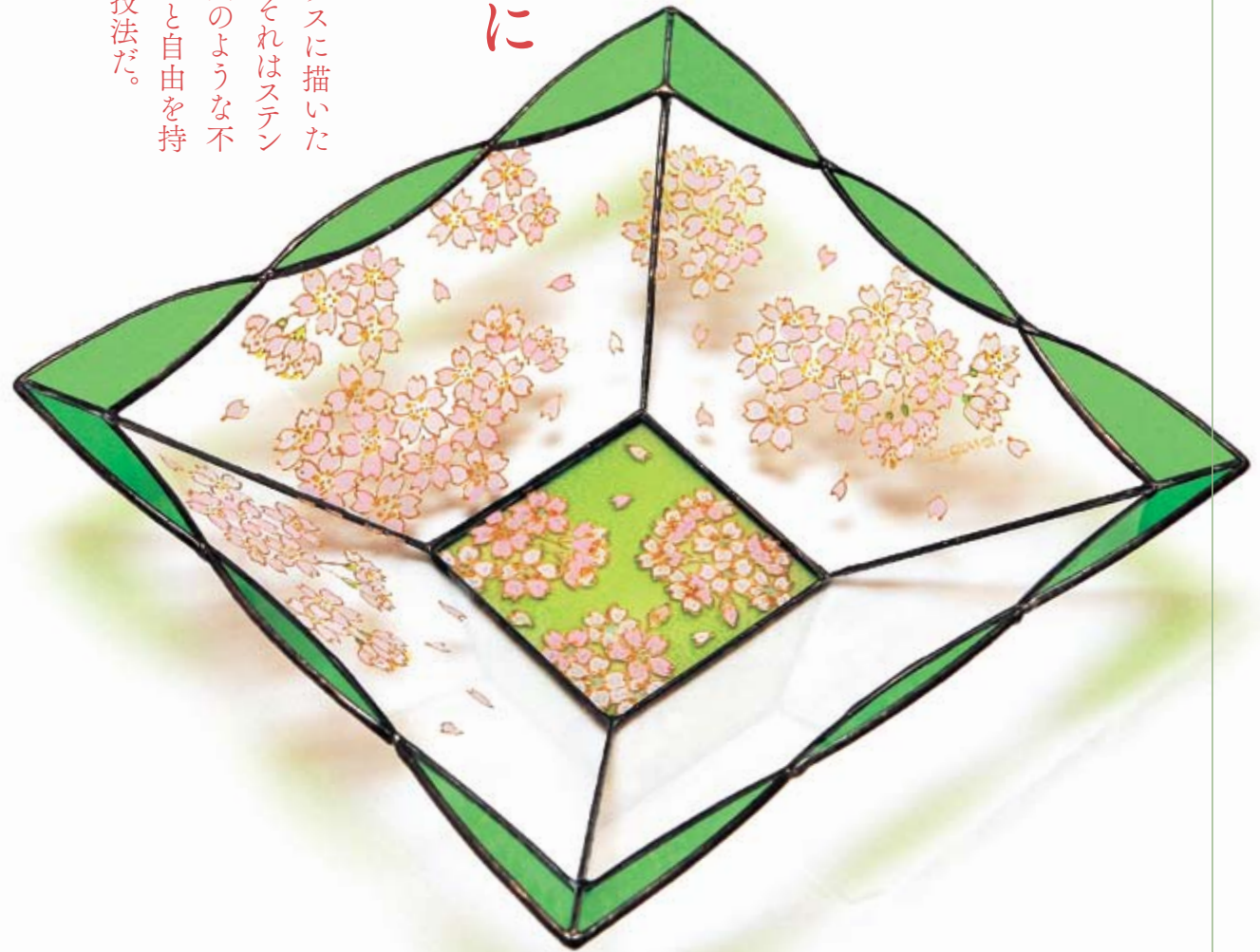


自由に華やかに 花を咲かせて

光を透過させ、ガラスに描いた花々がやわらかに輝く。それはステンドグラスのような、絵画のような不思議なアート。華やかさと自由を持ち合わせた新しい表現技法だ。



【作品展】

クリスマス☆デザインマーケット
2013年12月3日(火)～6日(金)
会場:ギャラリー花季
由利本荘市美倉町44-2 プリンセスビル2F
10:00～17:00(入場無料)
※会期終了後も作品を展示しています



Taeko Kagaya

Atelier. 華やぎ

加賀谷 妙子さん

<http://bara543.blog.fc2.com/>

E-mail atorie_k@ont.ne.jp



※加賀谷さんの作品は、
秋田轟真(秋田市大町/TEL.018-853-7470)、
ギャラリー花季(由利本荘市美倉町/TEL.0184-22-8719)で
常設展示・販売しています。

加賀谷さんからプレゼントがあります!
詳しくは57ページをご覧ください。

特殊な絵の具を使い、ステンドグラス風の模様を描くディンプルアート。ガラス、金属、タイルなどつるつるした硬い素材に絵の具を塗ると、波に似た凹凸模様が浮かび上がる。そこから英語で「さざ波」を意味する「ディンプル」の名前がついた。

絵の具は車のフロントガラスのリサイクルから開発された。飛散防止のためにガラス板の間に挟まれている樹脂は、ガラスの破片が付着して残ってしまうため埋め立て処理される。これを宇都宮大学大学院の木村隆夫教授が絵の具として応用。2003年に製品化した。

黒の絵の具でふち取りし、その中を着色用の絵の具で塗り埋めていく。筆を使わず、直接容器から絵の具を押し出して描く。ステンドグラスはガラスをカットする作業が必要だが、ディンプルアートはそうした手間なく簡単にガラスのような光沢や色彩が表現できる。「簡単に自由で仕上がりは華やか。透明感があり、透過する光の種類や加減で表情が変化するから面白い」と加賀

谷さん。主に描くのは「花」。「パツと見て気分が華やぐ。作品を通して心に安らぎを、暮らしに華やかさを与えられたらいいですね」

ディンプルアートを始めたのは6年ほど前。それまで水彩画、油絵、アクリル画、ステンドグラスなどさまざまな創作活動に取り組んできた。現在は、水彩画を描く傍ら、ディンプルアートとステンドグラスを組み合わせた新しい作品も創作している。「型にはまらず、自由に表現することで自分なりにアートを楽しんでいます」

四季折々の花々を精細に生き生きとガラスに描く。キャンドルに照らされて、花びらから温かな光がこぼれた。

